

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)	◎	一般小売店〔生花〕（経営者）	・2～3月は卒業式や送別など新年度に向けてのイベントも多いため、今以上に売上が増加すると予想している。
	◎	通信会社（社員）	・業界では需要が増加していくと予想される。
	○	商店街（代表者）	・12月は売上が落ち込んでいるが、現在の客単価を基に考えると、3か月先は気候が良くなることから来客数が伸び景気は良くなる。
	○	一般小売店〔精肉〕（店員）	・引き続き取引先が増えると予想される。
	○	コンビニ（経営者）	・インバウンドが更に増加するほか、近隣の高層ビル工事も活発化しており、コンビニエンスストアのニーズは高まる見込みである。
	○	家電量販店（従業員）	・インバウンド需要の継続が見込める。
	○	乗用車販売店（総務担当）	・2024年の新車生産台数がメーカーより提示されており、平時より多い台数が生産、配給される予定である。当面は現状以上の好景気が続く。
	○	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・物価や金利が大幅に上昇しないことを前提にすると、景気は良くなる。原価高騰による家計支出増加が所得増加よりまだ多いため、個人所得が増えるように政策による後押しに期待したい。
	○	観光型ホテル（総務）	・宴会もほぼ開催傾向となり、宿泊はインバウンド需要が高まっている。
	○	観光型ホテル（支配人）	・前年は景気が良かった宿泊部門で今年は微減となっているが、宴会や婚礼部門が増加傾向にあり、新年会や歓送迎会の増加で宿泊の減少を補えると見込んでいる。
	○	観光名所（従業員）	・年末年始の大型連休等があり、来客数が増加すると予測している。
	○	観光名所（職員）	・現在マイナス要因が見当たらないため、順調に良くなっていくと見込んでいる。
	○	競馬場（職員）	・現状考えられる悪い材料による想定以上の影響はみられず、今後、それほど悪くなる見通しはない。
	○	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・客の工場操業状況を見ると、若干、今後の景気に期待を持てる。また、見積りが増加し、売上に繋がるとを期待している。
	○	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・介護報酬の改定率がプラスとなり売上増加が期待できる。
	○	住宅販売会社（従業員）	・インバウンド客が増加しているため需要も多い。そのため、インバウンドに関連する業界が主導すれば景気は良くなると考えている。
	□	商店街（代表者）	・円安の状況や賃金上昇が商売に影響しないか心配しており、来年の予測は難しい。
	□	商店街（代表者）	・プレミアム付商品券による売上の増加は一時的で、やはり物価高による買い控えは続く。
	□	商店街（代表者）	・インバウンドや旅行需要等が拡大しているが、物販や商店街の来客数が伸びず、売上が増加しない状況が続くと予想される。
	□	商店街（代表者）	・商店街全体をみても景気が良くなったような話はないが、年末年始はボーナスも出ており、消費は上向きになると予想している。しかし、それは一時的なもので、消費の上向きは継続せず、大半の所得は上がらないことが考えられる。物価上昇もあり、厳しい状況に変わりはない。
□	商店街（代表者）	・様々な物の値上がりがあるが、それに対し収入が追いつくような勢いはない。必需品から購入するため、我慢できる商品は後に回されることになり、景気は伸びないと予想される。	
□	百貨店（企画担当）	・バレンタインデー以外の大きな商戦がなく、来客数は落ち着くと予想される。	
□	百貨店（経理担当）	・来客数は増加傾向ではあるが、購買率が上がっていない。値上げによる客単価の上昇で売上也前年並みに推移しているが、今後も状況は変わらない。	

<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・年末年始商材に加え、スポーツ大会関連の開催で紳士・婦人雑貨衣料は堅調となり、リビング用品やし好性の高いブランド品・舶来雑貨需要は依然需要が高い。商品価格上昇の懸念はあるが、クレジット利用促進により客単価、自家需要とギフト需要の増加が見込める。
<input type="checkbox"/>	百貨店（業務担当）	・暖冬ではあるが、急な大寒波もあり気候が落ち着かないため、衣類や食品など状況を判断する客が多い。購入に慎重になっている間に必要なくなることも多く、今後もこの状況は変わらないと予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業企画担当）	・引き続き高額品は好調に推移するものの、暖冬の影響でコートなど重衣料を始めとした衣料品への消費影響が響いてくる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・物価高騰が高止まりしており、来期は一層厳しくなると判断している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（総務担当）	・消費者の購買意欲をかき立てるほどの賃上げの恩恵を受けている企業はごく一部に限られている。そのため、食品価格が高止まりしている間は来店回数や購買点数において、前年を下回る水準で推移すると見込まれる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・商品値上げは落ち着いており、値上げによる単価上昇は期待できない。むしろ消費者の買い控えが懸念され、悪化する可能性も考えられる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・年末にかけて来客数は悪くなく、客単価の前年割れを補っている。しばらくはこの傾向が続くと考えている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・今年度は新型コロナウイルス感染症が落ち着いた反動から来客数が確実に増加しており、加えて、物価上昇により客単価が上がり売上は上昇している。次年度については本年度の水準で落ち着くと予想される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・コロナ禍からのリベンジ消費が増加しているが、コンビニエンスストアでは大きな影響はないとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・賃上げや物価高騰などによって経済の動きが落ち着いてきている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・景気が良くなる要素もなく、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・所得増加がないため、物価高が収まらなければ購買意欲が上がることはないと考えている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・今月は家電業界が全体的に苦戦している。来客数が大幅に減少している割合に比べると売上は増加しているが、今後の売上を上昇させる好材料が見つからない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・相変わらず賃金が増加せず物価が高止まりしたままであるが、この状態がしばらく続くと予想している。家電商品は故障すると買換えるが、買い控えもあり、利用できる物は使い尽くす傾向にある。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・今回は年末の特需があるが、3か月後は年度末という特需があり、売上は今月とさほど変わらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（役員）	・メーカーの生産や供給が順調であるため、販売では高水準な売上が期待でき、初売りや決算セールと購買喚起も期待できる。しかし、自動車業界への客の厳しい反応が心配である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（代表）	・景気が良くなる要因が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・円安と経費の値上がりによって商品価格は高止まりしているが、商品によっては値上がりが続いているものもある。買換え需要も一段落していること、住宅着工件数も最近減少していることから、新築需要も余り見込めない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（従業員）	・寒さが厳しくなる1～2月に高単価の秋冬商材の売上が増加することを期待したいところであるが、12月の厳しい売上状況では楽観視することができない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [コーヒー豆]（経営者）	・コーヒー業界では、年間を通して12月が1番売上が多く、進物等の需要で一時的な売上増加がみられる。例年、1～2月になると比較的売上が減少していくが、来店客は増加傾向にあるため、今後の売上は若干増加傾向を見込んでいる。
<input type="checkbox"/>	その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター]（支配人）	・新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症へ移行され落ち着いた状態が続いているが、物価高騰や温暖化のため、し好品を中心に稼働の鈍い状態は変わらない。その外的要因により逆に売上が伸びている業態もあるが、悪影響を受けている店舗も多いため、今後簡単に良くなるとは考えられない。

□	その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター] (統括者)	・国内客の売上が伸び悩んでおり、中小零細企業の賃金上昇がなければ、恒常的回復はしないと考えている。
□	高級レストラン (経営者)	・今以上に景気は良くならないが悪くもならないと予想される。2～3か月先の予約状況は若干入っている程度で、今後の予約が増加するかは不透明である。
□	高級レストラン (経営者)	・来年に期待していたが、国内情勢には問題があり、海外では戦争はまだ続いている状況である。店の現状では、宴会が減少し、来年の景気を懸念している。
□	スナック (経営者)	・今年は忘年会を行う企業が多く、その流れにより12月は来客数が多くなっている。自粛ムードがないため、この状況が来年も続くかと予想される。
□	都市型ホテル (販売担当)	・食品や燃料費などの高騰により、現状と余り変わらない。
□	都市型ホテル (スタッフ)	・2～3月のインバウンドの動きは、桜のシーズンに伴い活発になると予想される。しかし、国内の需要は、今月の方がイベントの情報等多いため、大きな変化はないと想定される。
□	旅行代理店 (職員)	・春休みの家族旅行や学生旅行の需要が増えることに期待している。
□	タクシー運転手	・タクシーが不足しており、レンタカーや自家用車の利用が増加していくのではないかと心配している。
□	タクシー運転手	・世界情勢が不安定のため、物価高やガソリン価格の高止まりなどの影響で不安定な景気が続いていく。
□	通信会社 (企画担当)	・引き合いや相談等は継続してあり、今後の見込みは増加しそうである。
□	通信会社 (企画担当)	・光回線では、販売件数の低迷が続くと予想されるが、売上が上向きイベントが見当たらない。
□	通信会社 (営業担当)	・2～3か月先に景気が上昇しそうな催しがない。
□	通信会社 (役員)	・生活物資高騰の高止まりや賃金の横ばいが続き、消費意欲が低下している。
□	ゴルフ場 (従業員)	・しばらくは堅調な予約状態が続くと予想される。
□	美容室 (経営者)	・2～3か月先は春になり、少しずつ動きがあると予想される。服装が変わってくると美容業界も徐々に回復してくる。2月までは売上が少ないが、3月からは上向いてくる。業界では新製品も出てくるため、回復する傾向があり期待を持てる。
□	美容室 (店長)	・年金生活の人は、ふだんの生活のままで、特に景気が良くなっているとは判断できない。
□	設計事務所 (所長)	・現在の仕事の結果は3か月先に出てくるが、現状の景気が変わらないため、3か月先も変化はない。
□	設計事務所 (所長)	・材料単価や製品単価の上昇が続きそうである。春闘での賃金上昇を要求しているが、大企業と都市部だけで、地方における仕事の対価は厳しい状況である。
▲	商店街 (代表者)	・例年、正月明けは来客数が減少するため、厳しい状況になる。
▲	商店街 (代表者)	・来客の様子では、平年どおりの売上で活気がない。通年の業務をこなしている。
▲	一般小売店 [青果] (店長)	・前年と同様であるが、年末は売上が良かったが、年明けは厳しい状況である。例年同じ流れではあるが、寒さも厳しさを増し、野菜関係の相場は上昇し、販売しづらくなると予想している。
▲	一般小売店 [鮮魚] (店員)	・例年、年明けは売上が悪くなる。今年は海に変化があり、仕事の方法も変えていかなければ商売が成り立たないと懸念している。来年が良い年になるように対策を講じなければならない。
▲	一般小売店 [茶] (販売・事務)	・景気がすぐに回復するような国の経済対策を期待したい。一般小売店では今以上に売上が伸びることができない厳しい状態である。客に高齢者が多く、年金等の収入減少で小売店の売上は伸びていかない。
▲	百貨店 (企画担当)	・円安が進行した場合は円安メリットが徐々に薄れ、現在好調なインバウンドによる売上に、3か月後は影響が出ることが想定できる。

	▲	百貨店（経営企画担当）	・バレンタインデーについては需要拡大が見込めるが、物価高の影響が依然続くため、春物衣料品等の動きは鈍くなる可能性が考えられる。
	▲	スーパー（店長）	・物価と所得が釣り合っていない状態がここ1年ほど続いており、悪化することは考えられるが、好転する要素は見当たらない。
	▲	スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症へ移行後、ある程度好調が続いているが、所得が予想ほど伸びず、インバウンドの回復もあるが総合的には食品への支出を抑制するのではないかと判断している。
	▲	コンビニ（経営者）	・客の所得が現状のままで、商品の値上げが続くようであれば、より安価な他の業態に流れていくのではないかと不安を感じている。
	▲	家電量販店（店員）	・毎月のように商品の値上げが続く限り、景気回復は難しいと考えられる。所得増加等の明るい材料がない限り厳しく、特に高齢者が多い地区では顕著に出ている。
	▲	乗用車販売店（役員）	・業界や大手自動車メーカーの不正問題、来年からの長期金利の変動許容幅の拡大により、客の購買心理に不透明感がある。そのため、割賦販売客からの代替の成否が鍵になると考えている。
	▲	観光型ホテル（専務）	・新型コロナウイルス感染症発生前のこの時期は、大型の団体客が入っていたが、まだ復活していない。予約が直近化していることもあり、現在の予約状況は良くない。
	▲	理容室（経営者）	・2～3月は業種的には売上が良くない。3月中旬の卒業式や入学式が始まる頃から徐々に良くなっていく。
	▲	設計事務所（代表）	・金利上昇の影響で、景気が若干悪くなる。
	▲	住宅販売会社（代表）	・金利が多少上昇傾向のため、世の中の物価高など不安定感があり、今後も景気が悪くなると予想される。住宅に関しては上昇していく気配はなく、補助金に期待するしかない。
	×	一般レストラン（スタッフ）	・一時的な年末の需要が要因で売上が多かっただけで、景気に対する良い政策もなく、この先の見通しが良いとは考えられない。
企業 動向 関連 (九州)	◎	—	—
	○	家具製造業（従業員）	・年度末に向けて案件数は増えると予想しているが、材料費を含む仕入原価の高騰に影響され、利益の確保は厳しい状況が続く。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・業界全体で半導体の動きが良くなりつつある。それに伴い、取引をしている顧客の動きも良くなっており、当社の受注の動きも徐々に回復していることから、しばらくこの傾向は続いていく。
	○	電気機械器具製造業（取締役）	・今期の収支見込みは比較的順調である。ある事業が不調な場合でも、他の事業でカバーするという好循環な傾向が今までにはなく、しっかり利益を上げ、それを賃金上昇につなげることが大切であると痛感している。
	○	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・2023年度辺りには生産が倍増すると予想されていたが、それが2024年度にずれ込んでくるため、来年度は期待したい。
	○	通信業（経理担当）	・新規の受注案件が増えている。また、現在も多数の商談が進行中で、先行きは明るいと感じている。
	○	新聞社〔広告〕（担当者）	・年度末に向けて、新聞広告の相談案件で少し動きが出てくる。
	○	経営コンサルタント（代表取締役）	・当社Webのアクセス数や問合せ件数が増加している。
	○	経営コンサルタント（社員）	・インバウンドが増え、爆買いが多くなっているため売上が増加しており、景気は良くなっていく。
	□	農林水産業（経営者）	・鳥インフルエンザの情勢に左右されるものの、原料確保できる状況であれば、売上が伸びると考えられ、これまでにない需要を見込んでいる。また、3月になれば行楽や異動シーズンなどで居酒屋を中心に外食向けの引き合いが大きく期待できる。
	□	化学工業（総務担当）	・収益は良い状況ではなく、当面この状態が続く。
	□	金属製品製造業（事業統括）	・建設業界では今後2～3年は需要があると予想されている。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・引き続き、ここ数か月は好調な受注が見込まれる。

	□	輸送用機械器具製造業 (営業担当)	・売上の基盤となる客先では当初の計画が低く設定されており、若干上乗せで内示が出ているが大きく影響はない。また、他の客先では売上比率は低い傾向があり、しばらく稼働停止となっているため、若干の影響が出てくる。
	□	建設業 (従業員)	・応札した物件が取れず、新しい物件を探さなければいけない状況である。官公庁の入札の公示がないため、しばらくは動向を見守りたい。
	□	輸送業 (従業員)	・中国経済の回復及び国内需要の好転がない限り、景気の回復は期待できない。
	□	輸送業 (総務担当)	・円高に振れることで、輸入量が伸びることに期待している。しかし、どこも人手不足であるため、増産量に人手が追いついておらず、特に建築・土木や機械メンテナンス分野などが厳しい状況である。一方、食品は堅調に推移している。
	□	通信業 (職員)	・電気工事は大幅に受注量が増えているが、情報通信工事に関しては横ばいが続いている。
	□	金融業 (従業員)	・自動車の売上が回復しているほか、百貨店やスーパーマーケットの売上も増加傾向にある。また、公共工事は高水準で推移しており、旅行関係の売上も増加している。一方、物価の上昇に加え、人手不足などの影響で先行きを慎重にみる企業が少なくない。
	□	金融業 (調査担当)	・物価高の影響が多方面に波及しており、当面は現状程度での推移が続く。
	□	金融業 (調査担当)	・新規設備投資資金の実行額において、前年比の増減率は四半期前と比較して16%減少と大きくは変わらない。そのため、3か月後の見通しも変化はないと考えている。
	□	不動産業 (経営者)	・同業他社と話をしても、景気にそれほど変動がない状況である。
	□	広告代理店 (従業員)	・新型コロナウイルス感染症の影響はほとんど無くなっている。しかし、国内の経済については、政府が減税を打ち出しても先行きの不透明感が拭えない。また、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルとガザの紛争、中国経済の不安定化と景気に悪影響を及ぼしそうな材料があるため、景気は現況が続くと予想される。
	□	広告代理店 (役員)	・依然厳しい状況が続くと予想され、2～3か月先の景気は変わらない。
	□	経営コンサルタント (社員)	・外部の環境の変化よりも内部の活動が停滞しているため、余り期待できない。方針転換を考えなければいけない。
	□	その他サービス業 [物品リース] (職員)	・価格高騰によるマイナスの影響もあり設備投資は弱音しているものの、企業の設備投資意欲は底堅いと考えられ、大きな変動はない。
	▲	繊維工業 (営業担当)	・冬物が売れずに受注を十分に確保できない。工場は休んでしまうと1年取り返しが付かなくなるため、難しい状況である。
	▲	電気機械器具製造業 (総務担当)	・景気は、顧客からの生産計画で変化してくる。
	▲	建設業 (社員)	・今の状態では非常に不安で、補正予算は決まっているため、早い時期の発注を期待している。
	▲	金融業 (営業担当)	・中小企業を含め賃金の増加や人手不足等経営を抑制する要因が考えられ、業種に限らず負担が増えているように見受けられる。住宅メーカーの営業は以前と比べると販売件数が落ちており、住宅ローンの金利の心配もあり動きが鈍くなるため、景気が悪くなっていく。
	×	一般機械器具製造業 (経営者)	・コストダウンの要求が厳しく、更に受注量の減少が懸念される。
雇用 関連 (九州)	◎	—	—
	○	人材派遣会社 (社員)	・展示会場の業務請負など新規の案件が増えている。
	○	求人情報誌製作会社 (編集者)	・サービス業が中心の当県の年明け需要は、恐らく活発になると期待をしている。
	○	学校 [大学] (就職支援業務)	・日本経済は、サービス消費やインバウンド需要の復調が続くなど、経済活動の正常化を背景に内需を中心に緩やかに持ち直している。その一方で、働き手の人材不足は徐々に様々な業界に広がっており、企業の新卒採用意欲は一層高まりをみせている。この状況はしばらく続くと予想している。
	○	学校 [専門学校] (就職担当)	・人手不足から採用ニーズが高まり、魅力ある求人にするために賃金のベースアップが多くの企業で見受けられる。

<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・企業側は求人条件の緩和に応じてきているが、求職者のエントリーがなかなか無い状況も多く、稼働状況は余り良い状態ではない。
<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（社員）	・人出は多いが、インバウンドが目立っており、インバウンドの購買意欲や購買先は限定的と考えている。生活者の立場からは、物価高もあり景気は現状のまま推移すれば良い方ではないかと判断している。
<input type="checkbox"/>	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・特に大きなイベントがあるわけではないが、インバウンドを中心に底堅い消費行動に期待している。
<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・事業所の人手不足状態は継続しており、就職件数や充足数は増加していない。また、事業所からは人手不足で忙しいが、仕事量は特に変わらないという声を聞いたこともあり、今後の景気は横ばいが予想される。
<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・資材やガソリン価格の高止まりのめどが立っておらず、期待感が持てない。
<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関（職員）	・様々な業界で人材不足になっており、安定的に採用できる新卒市場のニーズは継続すると考えている。
▲	*	*
×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・年明けから公共料金の値上げが始まる。バスや電車など公共交通機関の運賃の値上げは大きい。新年度、新学期で定期などの買換え時期もあり、更に景気の悪化が予想される。